

あらざらんこの世の外の思い出にいまひと夏のあふこともがな
ありあけのつれなく美えし列れよりあかつきばかりうき物はなし
なには江のあしの仮寝の一夜ゆえみをつくしても恋ひわたるべき
なつの夜はまだ宵ながら明けぬるを雲のいづこに月宿るらむ
なげけとて月やはものを思はするかこち顔なるわが涙かな
おほけなくうき世の民におほるかなわがたつそまに墨染めの袖
あふことのたえてしなくばなかなかにひとをもみをも怨みざらまし
おもひわびてさても命はあるものをうきにたえぬ涙なりけり
わすらるるみをば思はばちかひてしひとの命のをしくもあるかな
たかさごのをのへの桜咲きにけりとやまの霞たたずもあるかな
こぬ人をまつほの浦の夕なぎにやくもしほの身も焦がれつつ
こひすてふわがなはまだき立ちにけりひと知れずこそ思ひぞめしか
みちのくのしのぶもぢぢり誰ゆえにみだれそめにし我ならなくに
はる過ぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天のかぐ山
やへむぐらしげれる宿のさびしきにひとこそみえぬ秋は来にけり
よのなかはつねにもがもな渚こごあまの小舟につなでかなしも
きみがためをしからざりし命さへながくもがなと思ひけるかな
かぜそよぐならの小川の夕ぐれはみそぎ夏のしるしなりける
いまはただ思いたえなむとばかりをひとづてならでいふ由もがな
ひとはいさ心もしらずふるさとははなぞ昔の番に匂ひける
ちざりきなかたみに袖をしぼりつつすゑのまつ山波こさじとは
うらみわびほさぬ袖だにあるものを恋にくちなむ名こそ惜しけれ
つきみればちぢにもこの悲しけれわがみひとつの秋にはあらねど
しのぶれど色に出でにけり我が恋はものや思ふと人のとふまで
ももしきや古きのきばのしのぶにもなほあまりある昔なりけり
ゆらのとを渡る舟人かぢをたゆくへもしらぬ恋の道かな
むらさめの露もまだひぬまきのはにきりたちのぼる秋の夕ぐれ
めぐりあひてみしやそれとも分かぬまにくもがくれにしよはの月かな

百人一首かるた大会

伊勢原市立図書館

日付	令和6年1月20日(土曜日)	申込	令和5年12月15日(金曜日) 午前9時～
時間	午後1時30分～4時	受付	電話
場所	図書館 2階 AVホール	電話番号	0463-92-3500
定員	20名	協力	伊勢原みちのく会
対象	小学生以上	内容	小倉百人一首

初心者向けのかるた大会です。お子さんから大人の方まで楽しめますので、ぜひご参加ください。